

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 松涛会	代表者	斎藤 妙子	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 複合施設になっていて他部署との協力体制ができています。 安岡病院、山の田内科が協力病院として緊急時等の受診などの連携ができています。 施設内は安心して過ごしてもらえよう家庭的な雰囲気を作るように心掛け、不安や心配事を訴えてくる利用者様には、個別に対応をしている。 利用者本位の柔軟な対応に心掛け、緊急な泊りなど家族の要望の受け入れをしている。
事業所名	小規模多機能 フォイ`金比羅	管理者	野村 恵美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
			2人		1人	1人		5人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き日々の業務や毎日のミーティングを通し都度振り返りを行う。各項目の改善計画を個々が理解し達成に向け全職員で取り組んで行く。 又、自己学習や毎月実施している勉強会だけでなくWEB研修も活用し職員一人一人のスキルアップを図り、全体の質の向上に繋げて行く。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続し、各利用者へのケアや対応方法、業務について職員会議や毎日のミーティングを通して話し合い、振り返りを行った。事業所自己評価の改善計画を個々が理解しそれに沿い業務を行う事で、各項目の改善に向け動く事が出来た。 各々が毎月実施している勉強会だけでなく、自己学習も行いスキルを磨き業務に活かす事が出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> *地域住民の意見 <ul style="list-style-type: none"> 毎年参加させてもらっているが、文章のまとめ方や職員の意識が高まっている事は感じます。 職員でも個人で捉え方が違うと思うし、家族でも目線の違いがあると思う。家族から、かいつまんで、で良いので意見を聞くのも良いのではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も事業所自己評価の改善改革を基に、より良い事業所となるように改善に向け全職員で取り組み、個々が自己研鑽をして行く。 職員や利用者家族、見方や意見の違いもあるため送迎時なども活用し個別に意見を聴取する時間を設け、「できていない」の項目が少しでも「できている」に変えられるよう努力をして行く。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 今後も通勤時や送迎時の事業所周辺の交通ルールを遵守し、来苑した利用者家族などにも説明し周知をしてもらう。 季節にあった飾り付けなど、利用者を楽しみをもってもらいながら居心地の良い空間作りを行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 通勤時や送迎時の事業所周辺の交通ルールは守れている。施設から出る際の右折禁止や、高齢者や子供が歩いていることも多くあり、徐行運転をするなど注意を払っている。来所した家族へも口頭で説明し守ってもらっている。 フロアなどは季節のイベントに合わせて飾りつけを行い、利用者四季を感じ楽しんでもらえるように努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> *事業所職員の意見 <ul style="list-style-type: none"> コロナウイルスの緩和もあり会議や委員会、イベント等で地域の方が施設を訪れる機会が増えてきました。地域住民だけでなく、利用者、利用者家族にとっても訪れやすい・相談しやすいと思ってもらえるところであると良いですね。 	<ul style="list-style-type: none"> 以前の様に地域の方が施設に来る機会が増えてきている。引続き、施設周辺の交通ルールも遵守し来訪した方が居心地が良い、親しみやすいと感じてもらえるような環境作りに努める。四季に応じ玄関先やフロア内の飾りつけも継続して利用者と一緒にやっていく。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> コロナウイルスの規制も緩和されて来ている。以前の様に地域の方を交えて運営推進会議や地域密着委員会の開催が出来た際には、情報交換を行い地域のイベントへの参加、行事の開催に向け取り組んで行く。 感染対策に気をつけながら日々の挨拶や地域資源の活用を継続し、地域に根付いた事業所を目指して行く。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナウイルスの規制緩和がなされ、運営推進会議や地域密着委員会も通常通りに開催されるようになった。海峡花火大会での施設4階の開放や、活用品バザーなど地域の方と関わる機会が以前より増え、イベントも協力し開催する事が出来た。 地域の方と会う機会が少なくても、日々の挨拶や行事等で地域資源の活用を努め、出来る事を行い継続して事業所のアピールを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> *事業所職員の意見 <ul style="list-style-type: none"> コロナウイルスの規制緩和もあり、徐々に地域の方と交流できる機会が増えてきました。引き続き感染対策への配慮は必要ですが、活動範囲を広げることも今後検討しても良いかもしれません。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続し、運営推進会議や地域密着委員会も活用し感染対策に考慮しながら、地域の方との関わりを深め協力して行事を開催して行く。 又、インターネット等から地域でのイベントの情報収集も行い、こちらから地域へ出向く機会も増やせるようにする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> コロナウイルスの規制も緩和されて来ている。以前の様に地域の方を交えて運営推進会議や地域密着委員会の開催が出来た際には情報交換を行い地域のイベントへの参加、行事の開催に向け取り組んで行く。 継続し、ホームページの活用・広報誌を通じ地域の方や家族へ情報発信をして行き地域との関係性の構築に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナウイルスの規制緩和がなされ、運営推進会議や地域密着委員会も通常通りに開催されるようになった。地域密着委員会が中心となり、活用品バザーも開催され、地域の方と交流を深める事が出来た。例年行われている大坪八幡宮のお神輿や、海峡花火大会での施設からの観覧など徐々に地域の方と関わる機会が戻ってきている。 地域密着委員会での広報誌の発行や、事業所での催しの紹介をホームページを活用し情報発信を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> *利用者家族の意見 <ul style="list-style-type: none"> 身体面もあり、どこかに連れて行こうと思っても実際は難しい。 こうして行事などでいろいろ連れ出してもらったり、その様子を広報誌で知れるので良いと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続し、運営推進会議や地域密着委員会も活用し感染対策に考慮しながら、地域の方との関わりを深め協力して行事を開催して行く。 コロナ等の感染状況を確認しながら外出行事なども企画実施し、利用者の楽しい、～したいといった意欲をひきだす機会も増やしていく
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> コロナウイルスの規制も緩和されて来ている。会議や委員会だけでなく回覧板やインターネットなども活用し情報収集を行うようにする。感染状況に応じ、地域のイベントへの参加、協同での行事開催に向け取り組んで行く。 又、地域の方への挨拶や広報誌の作成も継続し事業所を知ってもらおう努力をして行く。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナウイルスの規制緩和がなされ、運営推進会議や地域密着委員会も通常通りに開催されるようになった。地域密着委員会が中心となり、活用品バザーも開催され地域の方と交流を深める事が出来た。 例年行われている大坪八幡宮のお神輿や、海峡花火大会での施設からの観覧など徐々に地域の方と関わる機会が戻ってきている。 日々、感染対策に気をつけ今出来る事(地域の方への挨拶等)継続して行った。 	<ul style="list-style-type: none"> *地域住民の意見 <ul style="list-style-type: none"> コロナウイルスが緩和となったが、人と会う事自体がまだまだ嫌煙される傾向にある。数年ぶりにバザーと一緒に開催でき、良かったと思います。 *事業所職員の意見 <ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議に参加して思うことは、間違いなく地域の協力がフロイデ金比羅に向いていると感じます。現状で出来る事を小さな事でも続けて行くのは良い事だと思います。今後も続けて行って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続し、運営推進会議や地域密着委員会も活用し感染対策に考慮しながら、地域の方との関わりを深めていく。 イベント等で交流を深めるだけでなく、今後も挨拶など些細な事柄も続けていき、地域の方から必要とされる事業所を目指す。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> コロナウイルスの規制も緩和されて来ている。今後も感染状況に応じ、避難訓練や行事など地域へ参加の呼びかけをして行く。 地域の方への挨拶等、現状で出来る事を継続して行い、話しやすい・頼みやすい関係づくりをする事で地域との良好な協力体制を目指して行く。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナウイルスの規制緩和がなされ、少しずつであるが地域の方と関わる機会が増えてきている。 回覧板も活用し参加を呼びかけ、活用品バザーでは地域の方の参加があった。 感染対策に気を配りながら、現状で出来る事を継続し行い地域との関係性の構築に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> *事業所職員の意見 <ul style="list-style-type: none"> 少しずつですがコロナ前の状況に戻りつつあります。 イベントや避難訓練等、今後も地域の方に参加してもらえよう呼びかけ、アピールを続けていって下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後もイベントや避難訓練など、地域の方へ回覧板も活用し参加の呼びかけをして行く。 誰でも気軽に参加がしやすい様に、引き続き事業所の情報発信等、アプローチをしていき地域との協力体制を築いていく。